

**平成 19 年度**

**総務局予算要求方針**

## - 目 次 -

1	平成 19 年度総務局予算要求総括表	1
2	19 年度予算要求にあたっての基本的考え方	2
3	予算要求の重点事項	3
	(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ	
	(2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ	
	(3) その他の重点事業等	
4	事務事業の見直し	8

# 1 平成 19 年度総務局予算要求総括表

## 【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 18 年度 予 算 額 A	平成 19 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 ( B - A ) / A
市政推進部	33 (33)	23 (23)	10 (10)	30.3% (30.3%)
行 政 部	1,915 (1,817)	2,001 (1,787)	86 (30)	4.5% (1.7%)
秘 書 部	87 (87)	80 (80)	7 (7)	8.0% (8.0%)
広 報 部	851 (786)	832 (757)	19 (29)	2.2% (3.7%)
国 際 部	497 (440)	525 (466)	28 (26)	5.6% (5.9%)
職 員 部	104,650 (104,015)	105,335 (104,722)	685 (707)	0.7% (0.7%)
東京事務所	102 (100)	98 (96)	4 (4)	4.0% (4.0%)
オンブズマン 事務局	50 (50)	49 (49)	1 (1)	2.0% (2.0%)
合 計	108,185 (107,328)	108,943 (107,980)	758 (652)	0.7% (0.6%)

- 1 ( )内は一般財源額
- 2 本表は百万円単位のため、合計が一致しない場合がある。
- 3 職員部には一般会計職員の人件費を含む。

## 2 19年度予算要求にあたっての基本的考え方

札幌市の財政は、長引く景気の低迷の影響などにより依然として厳しい状況にありますが、一方では社会構造の変化や多様化する市民の価値観に対応するため、行政需要はますます増大しています。

そこで総務局では、本年度実施した行政評価における検証結果を十分に踏まえ予算に反映させるなど、市民の視点で、より効率的な市民志向・成果志向の市政運営を行っていくことを念頭におき、以下の役割を十分に果たすための予算を要求することとします。

### 1 市長、副市長などのリーダーシップの発揮を補佐する

市全体のマネジメント体制を充実・強化することによって、市民の視点で、より効率的な市民志向・成果志向の市政運営を行っていくため、経営層のリーダーシップの発揮を補佐する。

### 2 広報・広聴 情報公開及びシティPRなど、市民及び国内外への情報発信を行う

市民が主役のまちづくりを進めていくために、市民との情報共有を図り、必要な情報を積極的に発信するとともに、その意見を集約する。  
札幌市を代表して国内外にわたる対応・連携・PRを行う。

### 3 人事、研修、組織・機構、事務管理の総括など、内部管理的な業務を行う

今後も安定した市民サービスを提供していくため、今まで以上に内部効率化に取り組んでいくとともに、市民が主役のまちづくりを進めていくための環境を整備する。

### 3 予算要求の重点事項

#### (1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

札幌企業の振興を通して本市の経済を活性化させるため、首都圏における販路拡大支援等を実施するとともに、札幌の魅力を積極的にPRすることにより、集客交流を促進する。

#### 1 中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援

10百万円(10百万円)

注:( )内は18年度予算額

首都圏販路拡大推進事業(東京事務所)

10百万円

新たなさっぽろブランドの発信と本市産業の活性化を図るため、札幌企業の魅力ある製品や技術を、最大のマーケットである首都圏に紹介し、販路の拡大を推進する。

#### 【成果指標】

ビジネスラウンジ年間利用者数

【目標】449人 490人 【19年度効果】+41人

支援事業への首都圏の参加企業数

【目標】93社 100社 【19年度効果】+7社

個別コーディネートによる契約件数

【目標】5社(新規) 【19年度効果】5社

## 2 協働による観光振興とコンベンション事業の推進

39百万円(42百万円)

注:( )内は18年度予算額

### ア 首都圏シティPR事業(東京事務所) 23百万円

札幌への観光客及び学術集会や教育旅行の誘致促進を図るため、国内最大の市場である首都圏において、公共交通機関、新聞紙面等のメディアを活用した広告掲出やイベントの開催などシティPRを行う。

### イ「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担金(国際部)

11百万円

大通公園2丁目を会場に、市民や観光客にドイツのクリスマスにちなんだ用品等を提供して、本市の姉妹都市ミュンヘン及びドイツの文化紹介を実現している「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」実行委員会に対し、負担金を交付する。

### ウ 東アジア都市間文化交流事業(国際部) 1百万円

札幌で生活している中国、韓国の留学生と札幌圏内大学の学生による映像製作を通じた交流や市民が参加する討論会などを開催する。

### エ 在住外国人支援施策推進事業(国際部) 4百万円

外国籍市民が必要とする生活情報等を多言語で提供するとともに、外国籍市民の意見を集約し、まちづくりについて協働で考える機会を設ける。また、多文化共生を推進するため、日本人市民と外国籍市民の交流の機会を設け、相互理解の促進を図る。

#### 【成果指標】(上記ア～ウ共通)

年間来客数 【目標】1,332万人 1,520万人

【19年度効果】+188万人

### 3 さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出

10百万円(10百万円)

注:( )内は18年度予算額

#### 首都圏販路拡大推進事業(東京事務所)【再掲】

10百万円

新たなさっぽろブランドの発信と本市産業の活性化を図るため、札幌企業の魅力ある製品や技術を、最大のマーケットである首都圏に紹介し、販路の拡大を推進する。

#### 【成果指標】

ビジネスラウンジ年間利用者数

【目標】449人 490人 【19年度効果】+41人

支援事業への首都圏の参加企業数

【目標】93社 100社 【19年度効果】+7社

個別コーディネートによる契約件数

【目標】5社(新規) 【19年度効果】5社

### 4 アジアの産業ネットワークの拡大

5百万円(6百万円)

注:( )内は18年度予算額

#### ア 在住外国人支援施策推進事業(国際部)【再掲】

4百万円

外国籍市民が必要とする生活情報等を多言語で提供するとともに、外国籍市民の意見を集約し、まちづくりについて協働で考える機会を設ける。また、多文化共生を推進するため、日本人市民と外国籍市民の交流の機会を設け、相互理解の促進を図る。

#### イ 東アジア都市間文化交流事業(国際部)【再掲】

1百万円

札幌で生活している中国、韓国の留学生と札幌圏内大学の学生による映像製作を通じた交流や市民が参加する討論会などを開催する。

【成果指標】(上記イ)

札幌市内における交流事業の参加者数 【目標】100人 150人  
【19年度効果】+50人

(2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ

世界の冬の都市とネットワークを構築し、創造性豊かなまちづくりに努める。

1 ゆたかな冬の暮らしの実現

27百万円(21百万円)

注:( )内は18年度予算額

ア 世界冬の都市市長会関連事業(国際部) 16百万円

平成20年(2008年)1月にグリーンランド・ヌーク市で開催される第13回世界冬の都市市長会議に参加し、地球温暖化対策等について世界の冬の都市と協議するとともに、事務局都市として市長会の運営に必要な活動を行う。

イ「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担金(国際部)【再掲】  
11百万円

大通公園2丁目を会場に、市民や観光客にドイツのクリスマスにちなんだ用品等を提供して、本市の姉妹都市ミュンヘン及びドイツの文化紹介を実現している「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」実行委員会に対し、負担金を交付する。

【成果指標】(上記ア)

市長会議参加都市数

【目標】29都市 30都市 【19年度効果】+1都市



### (3) その他の重点事業等

その他

15百万円(11百万円)

注:( )内は18年度予算額

ア 行政評価制度推進事業(市政推進部) 4百万円

平成17年度に拡充した行政評価制度の執行に係る経費。行政評価制度では、11年度より実施してきたこれまでの事務事業評価に加え、施策レベルでの評価を行うとともに、第三者評価委員会を設置し、市役所内部の視点に加えて外部の視点での評価を行う。また、評価結果を分かりやすく公表し透明性を高めるとともに、市民意見を反映させることで、市政への市民参加の推進を目指す。

#### 【成果指標】

行政評価に対する市民意見数

指標の数値は今後把握していく予定。

イ 出資団体評価システム推進費(市政推進部) 1百万円

従来からの出資団体評価システムを生かしつつ、行政評価と連携しながら、外部の専門家の視点を取り入れたチェック機能を付加して、出資団体改革プランの進行管理を行うとともに、新たに生じた課題にも対応するなど着実に改革を推進することができるようモニタリングを実施する。

#### 【成果指標】

適切な指標を今後設定していく予定。

ウ 平和都市宣言普及啓発費(行政部) 3百万円

平成4年に行った「札幌市平和都市宣言」の理念を広く普及し、併せて市民が平和について主体的に考え、平和の尊さを認識していただく契機となるよう、平和パネル展、平和へのメッセージ募集などの事業を行う。

#### 【成果指標】

「平和へのメッセージ」応募者数

【目標】 1,355人 1,400人 【19年度効果】 +45人

エ 市民意見の政策反映システム事業（広報部） 1 百万円  
寄せられた市民意見から、施策に結びつく可能性の高い意見を抽出・評価する。庁内検討会議を経た上で市民の意識調査等を実施し、施策への反映を進める。結果については、ホームページで市民に公開する。

【成果指標】

市民意見の政策反映件数

【目標】 4 件 5 件 【19 年度効果】 + 1 件

オ 札幌・ミュンヘン姉妹都市提携 3 5 周年事業（国際部） 6 百万円【新規】

交流事業を実施して相互に行き来することにより、両市・両市民間の友好親善、相互理解を推進するとともに、ミュンヘンの文化や施策を学び、札幌のまちづくりに取り入れる。

【成果指標】

記念事業参加人数

【目標】 500 人 【19 年度効果】 500 人

## 4 事務事業の見直し

### 内部効率

人件費の見直し（給与改定等） <見直し額 5 5 2 百万円>

一般事務費の節約や、効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制  
<見直し額 8 3 百万円>

所管施設の維持管理業務の見直し等による経費節減  
<見直し額 1 2 百万円>

公用車更新経費の節減 <見直し額 4 百万円>